

2011年4月18日

経済同友会

副代表幹事 長谷川閑史殿

専務理事 前原金一殿

社会的責任経営委員会 委員長 水越さくえ殿

藤沢市亀井野1371-5

武田問題対策連絡会

代表 小林麻須男

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、先に（4月13日）、別紙、貴会宛公開質問状をお渡ししようと、貴会事務所を訪問致しましたが、入り口が閉ざされ、事務局より面会を拒否されてしまい、お渡しすることが出来ませんでした。つきましては、郵送にて同公開質問状をお送り致しますので、ご回答頂きたく要請します。

現在、福島原発事故の問題が大きな社会的問題となっておりますが、バイオ研究所においても同等の危険性があることは、旧ソ連の事故においても証明されております。「安全神話」だけでなく、武田薬品研究所の安全問題についても、市民に情報を公開し、安全問題について市民とともに考えることがなによりも大切ではないでしょうか。

貴会は、企業の社会的責任（CSR）の問題を重視され、HPにも、「グローバル時代のCSR」という論文を掲載し、とりわけ、ステークホルダーとの対話を重視されておられます。今回お送りした武田薬品研究所にかんする公開質問状は、企業の社会的責任（CSR）にかんする問題ですが、ステークホルダーとの対話の観点で、住民が心配する問題について、長谷川次期代表幹事並びに貴会担当部門の考えをお聞かせ頂きたく、要請する次第です。

なお、回答につきましては、4月27日の経済同友会総会後の記者会見もしくは文書にて頂くよう、要請致します。

敬具